

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 交通機能連携に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、バスタプロジェクトの全国展開を踏まえ、関東地方整備局管内における交通結節点において事業の効果的な推進を図るため、交通結節点における交通機能の連携について調査・検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心 2 番地 1
契 約 年 月 日	令和 2 年 6 月 9 日
契 約 業 者 名	日本工営(株)東京支店
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区九段北 1 丁目 1 4 番 6 号
契 約 金 額	2 4, 9 5 9, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	2 4, 9 5 9, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式により選定を行った。 日本工営株式会社東京支店は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 2 年 6 月 1 0 日
履 行 期 間 (至)	令和 2 年 1 2 月 1 8 日
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。